

平成29年9月22日

総務文教委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 総務文教委員会
- 2 日 時 平成29年9月22日(金) 12時00分開会
12時23分閉会
- 3 場 所 第1委員会室
- 4 出 席 委 員 大田重男委員長、濱田洋一副委員長、渡辺久治委員、
西田数市委員、竹原信一委員、竹原恵美委員、
濱之上大成委員、木下孝行委員
- 5 事務局職員 議事係長 牟田 昇
- 6 会議に付した事件
・所管事務調査について
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

大田重男委員長

ただいまから、総務文教委員会を開会いたします。
先の委員会で所管事務調査事項について検討をお願いしておりました。
ここで、各委員の御意見を伺いたいと思います。

木下孝行委員

この前もらった資料の中から、特段自分が行きたいというようなところ、私のほうでは2番目の規模適正化・小中一貫教育学校ということで、佐賀県多久市に行きたいと。そして、再生可能エネルギービジョンの福岡県みやま市に行きたいということ。そして、最後の避難計画の実効性の向上ということで、同じように原発の隣接地であります唐津市に行つて、話を聞きたいなというふうに思っております。

大田重男委員長

今、木下委員から佐賀県の多久市、これは教育行政です。みやま市はエネルギー問題、唐津市は原発避難計画の部類になります。

竹原恵美委員

選択するときのポイントというのも一緒に聞けたらと思いますがいかがでしょうか。

大田重男委員長

今、言われた、木下委員が、ポイントを。

竹原恵美委員

場所だけではなくて、そこがどういう理由で優位性があるというところも教えてもらえると。

[発言する者あり]

大田重男委員長

今、ポイントみたいなのは木下委員が言われたんだけど。規模適正化でやると、佐賀県多久市の場合は。それと、みやま市の場合は再生可能エネルギービジョンということで。

濱之上大成委員

いいんじゃないですかね。佐賀県の多久市も私どもの人口と同じぐらいの規模でもあるので、そういったところで。先ほど、もちろん委員から県の仕事ではあるんだけど、やっぱり小中一貫的な勉強ももう一度していただくということが大事だろうと。今回ですね、身近に言うと、折多小が9名卒業するんだけど、8名が三笠中、例えば一人が鶴中と、こういう状況の中で、子供が一人ぼっちになるので三笠中に行きたいとか言って、そういう保護者からの意見も聞きましたがね。そういった状況等も把握しながら、そういうのも勉強になるので。学校関係においても多久市でいいんじゃないですかと思います。

木下孝行委員

今、濱之上委員から県のほうが教育関係のことはやるというような話もございましたけど、基本的には人事に関しては県のほうがいろいろと配慮しながら配置をすることがありますけれども、基本的には自治体の教育というのは自治体が背負うものであると私は認識しておりますので、こういった小中一貫校の制度自体は市のほうで決めて考えていくべきだと思っております。

濱田洋一委員

私は、再生可能エネルギーにつきましては資料にあるとおり福岡県のみやま市にお願いできたらと思います。それから、災害対策及び避難計画でございますが、それぞれありますけれども、私自身としては福岡県八女市ですね、自主防災組織の活動状況及び行政の支援状況。先の一般質問でも話をしましたけれども、やはり、局地化、集中化、激甚化している豪

雨といいますか、地球温暖化の影響もありまして、大変予測しない状況でのピンポイントでの雨の降り方等があります。その中で、やはり自主防災組織、その活動状況、行政の支援、それから災害時の要配慮者等避難支援や支援者等の活用をどのように図っていらっしゃるのかということで、福岡県八女市をお願いできたらなというふうに思っております。

大田重男委員長

ほかの委員は、この資料の中で。もう渡してあるんだけど。

[発言する者あり]

休憩に入ります。

(休憩 12:06~12:09)

大田重男委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

渡辺久治委員

まず、再生可能エネルギーに関しては阿久根市でもいろいろ上からして取り組んでいる形だから、どうしてもやっぱりどっかで電力会社を阿久根市が本当にする気があるのか、ないのかということをはっきりさせないかんと思うから、もうやっぱりみやまは欠かせないと思います。それから、学校に関しては、統廃と小中一貫、どっちかだと思うんですよ、私も。そうなった場合、小中はこの前1回行きましたよね、静岡に。私はどうしても、何と言うかな、統廃の方向に行くんじゃないかなという気がするもんだから、統廃はやっぱり見てみたいなという分で荒尾市を押ししたいと思います。でも、両方行けたら一番いいと思いますけど。以上です。

大田重男委員長

統廃合ですね。

渡辺久治委員

荒尾ですね。

大田重男委員長

今、皆さんの意見が出てますけど、ほかに意見があれば言ってもいいし、同じようなものであれば。

竹原恵美委員

まず、学校のことに 대해서는皆さんの意見を聞きまして、統廃合と小中一貫校、義務教育、それは確かに2つのところで私もどちらかの選択になると思います。再生可能エネルギービジョンはみやま市です。そして、災害対策及び避難計画に対してですけれども、私は福岡県の古賀市がよいと思います。阿久根市の防災士について調べましたら、大川の中屋敷区長がお持ちであって、いろんな研修も御自身で今されている。とても知識の高い方で、今も実際やってらっしゃるんですが、残念ながら、次の糸島市を確認しましたところは、自衛隊のグループが今できてるかということ、OBの集団というのができていないそうです。それが特に若い方が戻ってらっしゃらない現実があって、これは今、不可能な状態かともお聞きしたところでした。あと、唐津市はさすがにちょっと人口が大きいので、ちょっと差のある、また、目新しい内容も見当たらないところです。八女市に関してはコミュニティーFMの生かし方というのが存在が大きいように思えますので、阿久根市がまねるとしたら古賀市が適切ではないかと私は思っています。以上です。

大田重男委員長

今、竹原委員が言ったのは多久市の義務教育と、荒尾市の統廃合の問題と。

木下孝行委員

先ほど、私が指名した関係ですけれども、3名、4名ほどの意見があった中で、私のほうは学校教育関係でいけば荒尾市でもいいと思います。ただ、荒尾市の方ではなぜ小中一貫校

を考えなかったかということを知ればそれでいいのかなと思いますので、あえて多久市にこだわることはありませんので、荒尾市で皆さんがよければ荒尾市でいいのかなと思います。再生可能エネルギーは今、渡辺議員が言ったみたいに、1カ所しかないと思うので、ぜひここは皆さんも行くべきだろうと思います。あと、防災の方は私のほうはどこでもいいです。辞退します。

竹原恵美委員

学校の方は事前に担当課の説明をと言われましたけれども、エネルギービジョンは入札が終わった状態で業者が決まっておりますので、先がある程度ストーリーが見越せた状態かと思えます。それも事前に勉強してから行きたいと思えます。

大田重男委員長

今、竹原恵美委員が言われたのは、所管調査に行く前に執行部との、所管課との話し合いみたいな感じな、意見を聞きたいということで。再生可能と今さっき濱田委員が言ったのは、教育行政のことを所管課と話をしたいと、行く前に。そういうことでいいんですね。

木下孝行委員

荒尾市が今、私は降りましたんで、それで皆さんがよければ荒尾市で決定していいのかなと思えますね、その学校のところは。

大田重男委員長

じゃあ、所管のですね、所管として皆さんが言われたのが、荒尾市。

木下孝行委員

学校関係では荒尾市、再生可能はみやま市。災害対策が今2つぐらい意見が出てますよね、濱田委員と竹原恵美委員と。

大田重男委員長

唐津はもういいってこと。

木下孝行委員

唐津はもう私はいいです。

大田重男委員長

じゃあ、災害対策及び避難計画の調査としては、古賀市と八女市が候補に出ているんですけど。

濱田洋一委員

災害対策及び避難計画につきましては、先ほど福岡県八女市の自主防災組織等についてということで、研修したいということで私は話をしましたけれども、先ほど竹原恵美委員からありましたとおり、古賀市の中にも調査候補としてありますので、古賀市でもよろしいんじゃないでしょうかと思います。

大田重男委員長

今、濱田委員の方が八女市を取り下げたのを、同じような項目だから古賀市をしたいという意見になりました。

それで皆さんよろしいですね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、教育行政については荒尾市を視察する、再生可能エネルギービジョンについてはみやま市、災害対策及び避難計画については古賀市ということで、ほかにありませんね。

西田数市委員

距離的には近いんですか。

大田重男委員長

福岡県じゃっせん。

濱之上大成委員

今、荒尾市に決定は別に結構ですけども、先ほど来、教育行政からも阿久根市の現状をちょっと把握したいということがあったんですが、決定したけど聞くということで理解して

いいですか。

大田重男委員長

そうです。

濱之上大成委員

いつするんですか。

大田重男委員長

それは待ってください。

濱之上大成委員

委員長、私が言いたいのはな、学校規模がただ統廃合だけじゃないんですよ。と言うのは、教職員の部活の時間帯が相当荒れてるんです。結局、授業時間とは別に、部活活動にも回されるというこういう実態を私は迫及して聞いてきたいのも一つなんです。だからそういう点で、荒尾市で決定しましたから、それはそれで結構ですけど、そういう状況の中で教育行政の皆さんが、教育長を初め、どういう状態の考え方をしてるのかも聞きたいので、ぜひ急いでお願いします。

[発言する者多数あり]

大田重男委員長

それでは本委員会の所管事務調査について、意見がまとまりましたので、教育行政で福岡県の荒尾市、それと再生可能エネルギーについてみやま市、災害対策及び避難計画については古賀市ということで、それに異議ありませんね。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。

それとですね、今教育行政と災害対策の関係で所管課に出席を求め、

[発言する者あり]

休憩に入ります。

(休憩 12:20～12:21)

大田重男委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

濱田洋一委員

テーマがですね、3つありまして、学校規模適正化、再生可能エネルギー、そして防災ということでもありますので、本市における所管課への状況も聞いた中での研修といったことで、お願いしたいと思います。

大田重男委員長

今、濱田委員から出ましたけど、3つの項目ですね、それに関して所管課に出席を求め、調査することに異議ありませんか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。

なお、委員会開催日は所管課と日程調整の上、決定したいと思いますので、委員長に一任願います。また、付け加えて、例えば皆さんがこういった項目の調査をしたいと、この中でですね、意見がありましたら事務局の方に出してもらえれば、それは事務局の方で調べたいと思います。

竹原恵美委員

以前、相手に質問したいことをリストにして渡したこともありましたが、そのようなこともされるということですね。

大田重男委員長

それも含めてですね。

竹原恵美委員

わかりました。

大田重男委員長

それをお願いします。

では、これで総務文教委員会を散会いたします

(閉 会 12時23分)

総務文教委員会委員長 大 田 重 男